

ヤマダ ハナコ

様

〒XXX-XXXX

東京都 千代田区 XXX-XXXX-XXXX

山田 花子 様

年齢 81

性別 女性

検査受付日 2025/03/10



S_YxYaLx

マイページからもご確認いただけます。



初回ログインID(受検番号)

S_rzeHLtV

マイページQR

高精度なAIで、がんリスクを早期発見



検査結果報告書

マイシグナル・スキャンはがん発症リスクを判定するスクリーニング検査です。
がんの方と健康な方の尿に含まれるマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することでがんリスクを判定いたします。

監修医師 Satoshi Sohda, M.D, Ph.D



免責事項

- ◎本検査は、医療行為として、がんに罹患しているかどうかの「診断」に代わるものではなく、また確定的な診断を行うものではありません。
- ◎検査結果として示されるがん疾患リスクが高い場合に、直ちにがんと診断されるものではありません。
- ◎検査結果として示されるがん疾患リスクが低い場合でも、がんに罹患していないことを保証するものではありません。
- ◎尿に含まれている成分や、測定中のトラブルなどで再検査になることがあります。

本検査に関するお問合せ

マイシグナル カスタマーサポート

TEL 050-1753-8393

平日10時から16時
(土・日・祝日、年末年始除く)

性別 女性

年齢 81 歳

受検日 2025/03/10

受検番号 S_YxYaLx

このたび、受検いただきましたマイシグナル・スキャンの検査結果をご報告させていただきます。

検査結果

項目	低リスク	中リスク	高リスク	疑いのある症状
 大腸がん			●	該当なし
 胃がん		●		該当なし
 すい臓がん		●		該当なし
 腎臓がん		●		該当なし
 肺がん	●			該当なし
 食道がん	●			該当なし
 膀胱がん	●			該当なし
 卵巣がん	●			該当なし
 乳がん	●			該当なし

※マイシグナル・スキャンが受検可能な医療機関一覧はこちらから



追加検査を受けて頂きたいがん種

大腸がん

次回マイシグナル・スキャンの
受検タイミング

2025年09月

※各ランク内において確率の幅があるのは、部位や年齢によってがんである可能性が異なるためです。

※マイシグナル・スキャンは、がんの有無を直接的に調べる検査ではありませんので、**がん**でなくとも中リスク、高リスクと判定される場合があります。本検査結果の解釈や追加検査に関しては、医師にご相談ください。

次頁より、受検後の対応と検査結果に関する解説をご用意しています。

必ずお読みください。



肺がん

総合評価

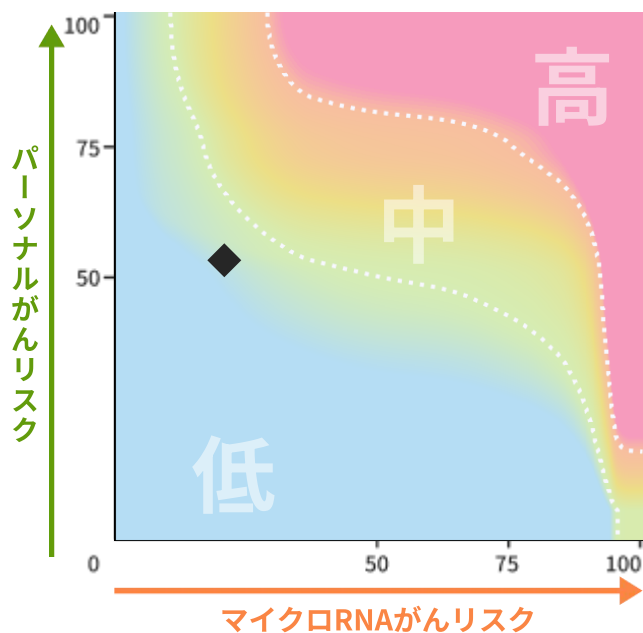
現時点でのあなたの
肺がん発症リスクは

低

です。

今回の検査で提出頂いた尿の分析結果と
申込票を総合評価し、あなたが現時点で
がんである可能性を判定しています。

◆ 今回の結果 2025/04/02



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚される肺がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、肺がん発症リスクは低いと考えられます。肺がんの初期症状に当てはまる症状がある方は、引き続き経過観察を行い、症状が強くなる場合は追加検査の受検をおすすめします。また、予防や健康状態を確認するためにも、マイシグナル・スキャンを定期的に受検下さい。

※マイシグナル・スキャンでは定期的ながん判定アルゴリズムをアップデートしております。

あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

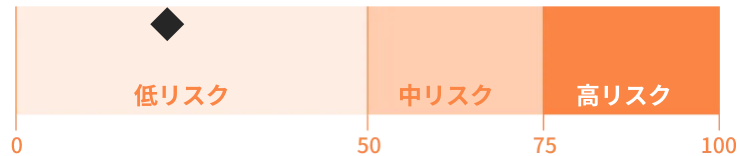
今回の
検査結果

21

肺がんのマイクロRNAがんリスクが"低"と判定されました。引き続き、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

肺がんのリスクが同世代・性別と同程度と言えます。しかしながら、安心は禁物です。肺がんは自覚症状を伴わず発症、進行する可能性があります。健康的な生活習慣を心がけ、早期発見のために定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(21)



マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

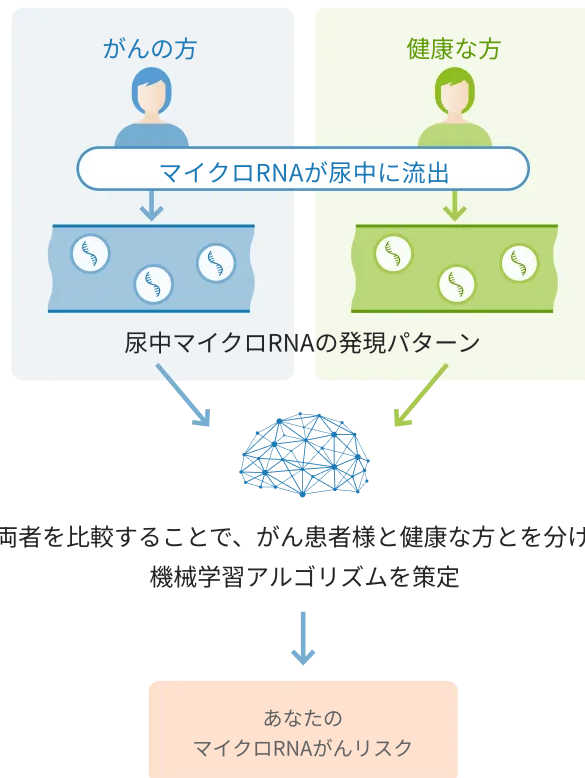
21

前回

前々回

マイクロRNAがん リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

52

肺がんのパーソナルがんリスクが"中"と判定されました。年齢の上昇や生活習慣によってリスクが高まる可能性があります。定期的な検診の受検を心がけましょう。

肺がん発症リスクがやや高い年齢、体質、生活習慣であると考えられます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。総合評価が"低"や"中"の場合でも、今後も定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(52)



パーソナルがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

52

前回

前々回

あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	7.8倍	20歳 0.1倍以下 50歳 1.0倍 95～99歳 8.9倍	肺がんの罹患率は、40代から増え始め、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
喫煙の習慣	吸わない	1.0倍	なし/禁煙20年以上 1.0倍 吸う 6.4倍	喫煙は、肺がんのリスクを高めます。喫煙歴が長く、喫煙量が多いほど、リスクが高まります。過去に喫煙していても、禁煙することでリスクが下がります。禁煙に努めましょう。
同居家族の喫煙	吸う	1.3倍	吸わない 1.0倍 吸う 1.3倍	同居家族に喫煙者がいる場合、周囲に流れる煙草の煙を吸う（受動喫煙）ことにより、喫煙していない人の肺がんのリスクも高まります。自分だけでなく、家族にも禁煙を勧めましょう。
COPDの既往歴	なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 1.29倍	COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、有害物質を肺に吸い込むことで肺が炎症を起こす病気です。慢性的な咳や痰などが主な症状で、禁煙などにより予防・治療することができます。
肺炎の既往歴	なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 1.43倍	肺炎は、細菌やウイルスが原因で肺に炎症が生じる病気です。うがい・手洗いなど風邪の予防に加え、肺炎球菌ワクチン接種などにより予防することができます。
結核の既往歴	なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 1.76倍	結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。咳、痰、発熱などが主な症状で、規則正しい生活習慣の実践やワクチン接種などにより予防することができます。
BMI	22.67	1.0倍	19以上 1.0倍 19未満 1.48倍	BMIが19未満の方は、肺がんのリスクが高まります。BMIが22の方は、最も病気になりにくい状態であるとされています。適正な体重の維持に努めましょう。
肺がんの家族歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 当てはまる 2.0倍	血縁者（両親、兄弟、姉妹）に肺がんと診断された方がいる場合は、肺がんのリスクが高まります。

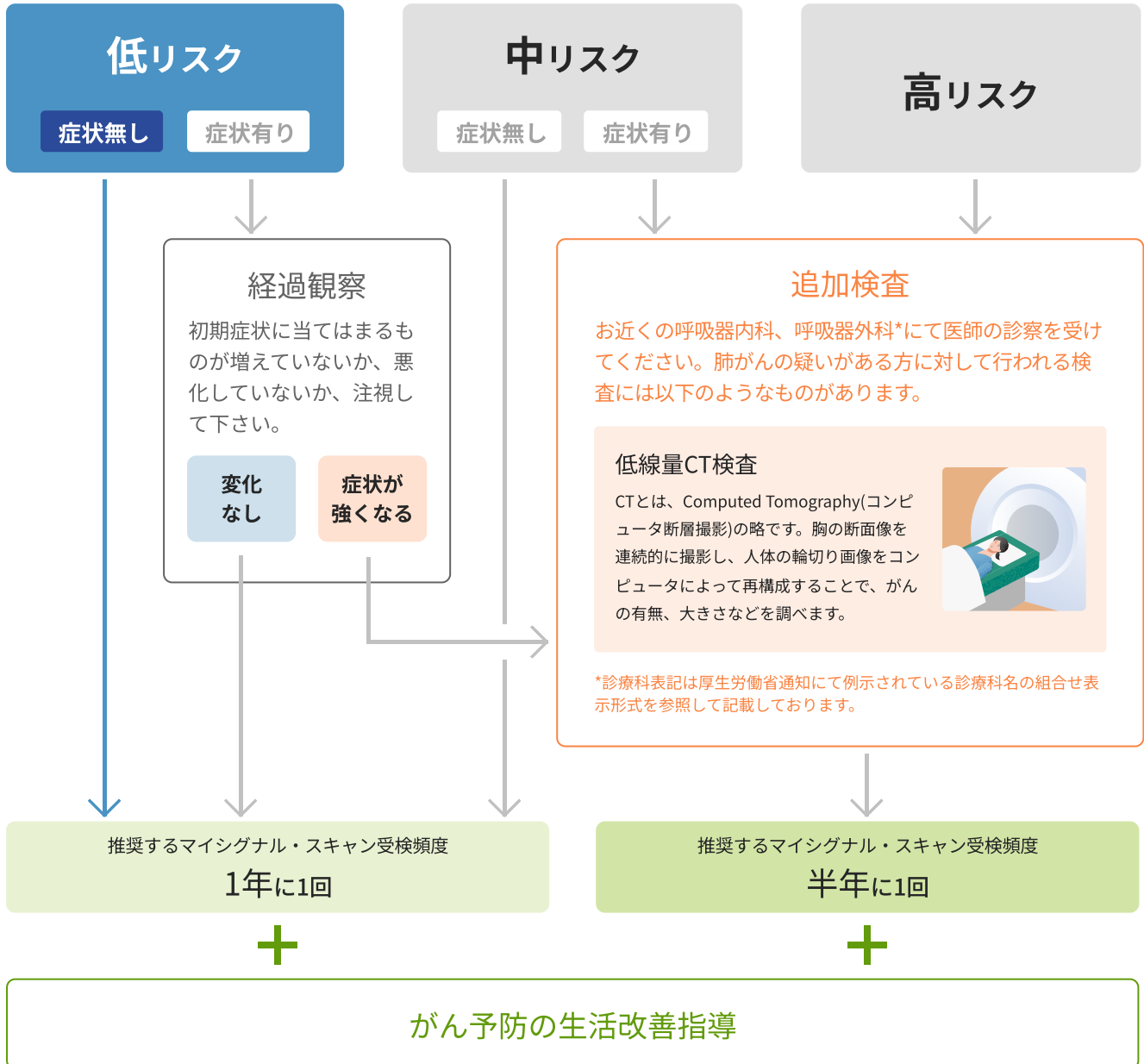
パーソナルがん リスクスコアとは

生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診を受けるように心がけましょう。

受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果



追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認いただけます。
<https://bit.ly/3bLOMOa>





胃がん

総合評価

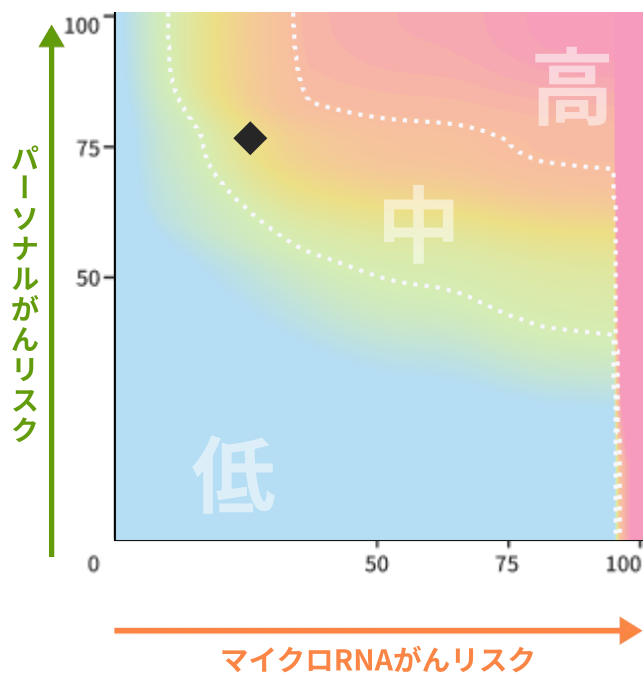
◆ 今回の結果 2025/04/02

現時点でのあなたの
胃がん発症リスクは

中

です。

現時点でのあなたの胃がん発症リスクは
「中」です。これはあなたと同じ性別・
年代における胃がんへのかかりやすさよ
りも高いといえます。



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚される胃がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、胃がんの発症リスクが中と判定されました。胃がんの初期症状に当てはまる症状がない方は今すぐ追加の検査を受けていただく必要はありませんが、当てはまる症状がある方は、追加検査の受検をおすすめします。また、予防や健康状態を確認するためにも、マイシグナル・スキャンを定期的に受検下さい。

あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

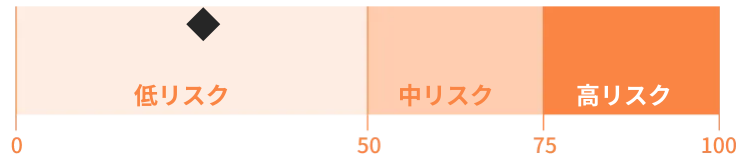
今回の
検査結果

26

胃がんのマイクロRNAがんリスクが"低"と判定されました。引き続き、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

胃がんのリスクが同世代・性別と同程度と言えます。しかしながら、安心は禁物です。胃がんは自覚症状を伴わず発症、進行する可能性があります。健康的な生活習慣を心がけ、早期発見のために定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(26)

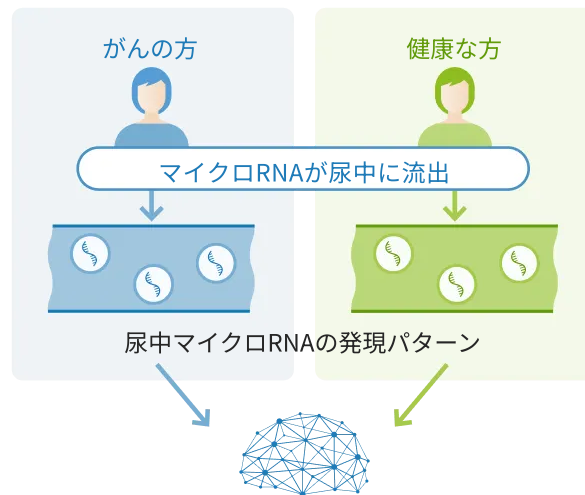


マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)	26	前回	前々回
-----------------	-----------	----	-----

マイクロRNAがん リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



両者を比較することで、がん患者様と健康な方とを分ける
機械学習アルゴリズムを策定

あなたの
マイクロRNAがんリスク

あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

75

胃がんのパーソナルがんリスクが"高"と判定されました。年齢の上昇や生活習慣によってリスクが高まる可能性があります。定期的な検診の受検を心がけましょう。

胃がん発症リスクが高い年齢、体質、生活習慣であると考えられます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。総合評価が"低"や"中"の場合でも、今後も定期的な検査の受検を行いましょう。



あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	10.1倍	20歳 0.1倍以下 50歳 1.0倍 85~89歳 11.2倍	胃がんの罹患率は、40代から増え始め、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
胃がんの家族歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 2.85倍	血縁者（両親、兄弟、姉妹）に胃がんと診断された方がいる場合、胃がんのリスクが高まります。
ピロリ感染の既往歴	あり	5.1倍	なし 1.0倍 あり 5.1倍	ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ菌）感染は、胃の粘膜にピロリ菌が感染して炎症が起きる病気です。胃炎や消化性潰瘍の原因としても知られています。
慢性胃炎の既往歴	なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 3.8倍	慢性胃炎は、胃の粘膜で慢性的な炎症が生じる病気です。胃もたれ、胃痛、食欲低下などが主な症状で、食習慣の改善や定期的な運動などにより予防することができます。
胃潰瘍の既往歴	なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 1.8倍	胃潰瘍は、胃の粘膜や内壁がただれる病気です。みぞおちの痛み、胸焼け、吐き気などが主な症状で、ストレスをためないことや食生活の改善などにより予防することができます。
喫煙の習慣	吸わない	1.0倍	吸わない 1.0倍 吸う/禁煙1年未満 1.7倍	喫煙は、胃がんのリスクを高めます。過去に喫煙していても、禁煙することでリスクが下がります。禁煙に努めましょう。
塩蔵品の食習慣	週2日以下	1.0倍	週2日以下 1.0倍 週3日以上 1.52倍	塩分の接種過多は、胃がんのリスクを高めます。塩分を多く含む塩蔵品（漬物、たらこ、塩辛等）を食べる頻度を減らしましょう。

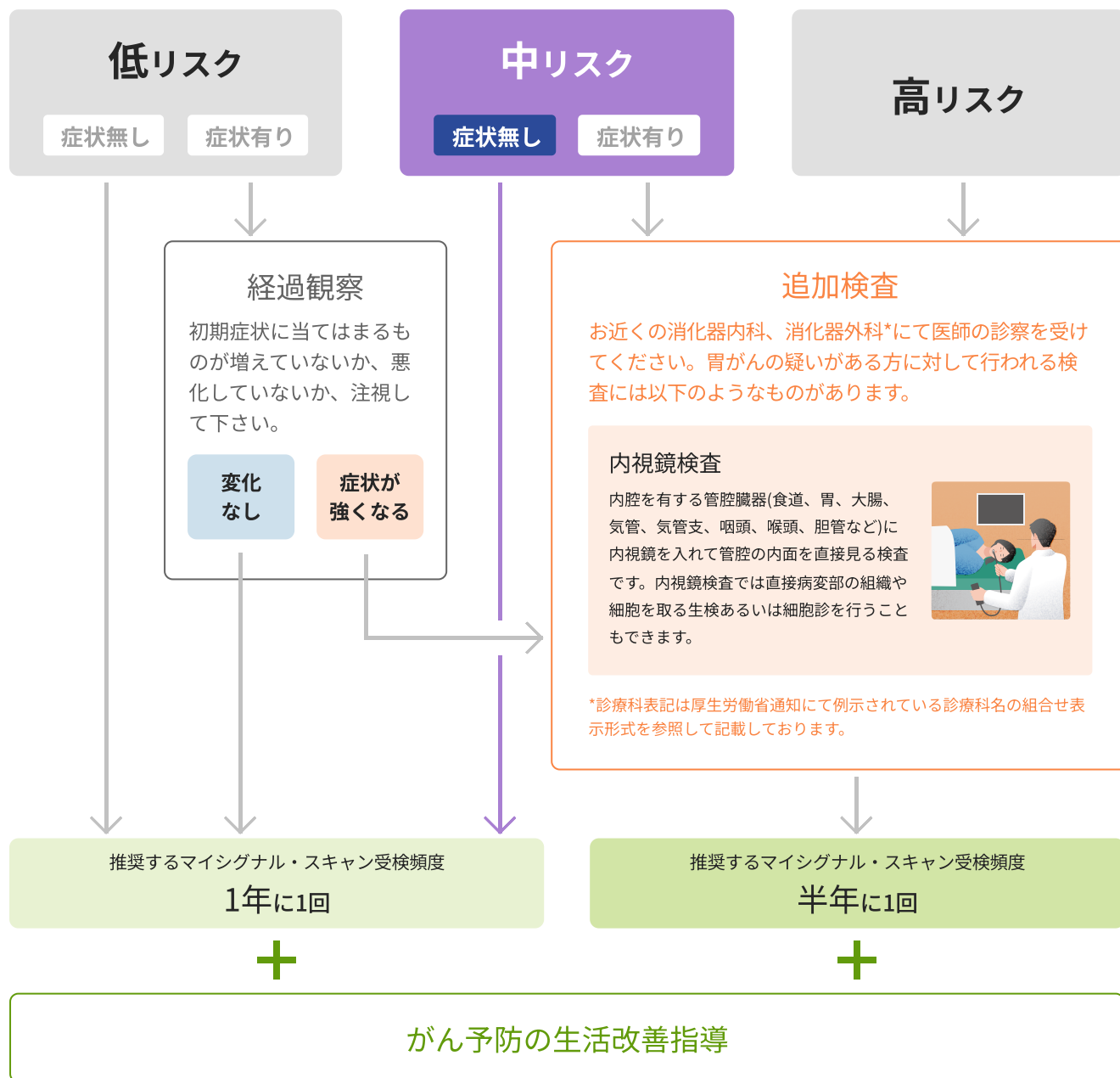
パーソナルがん リスクスコアとは

生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診をうけるように心がけましょう。

受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果



追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認いただけます。
<https://bit.ly/3bLOMOa>





大腸がん

総合評価

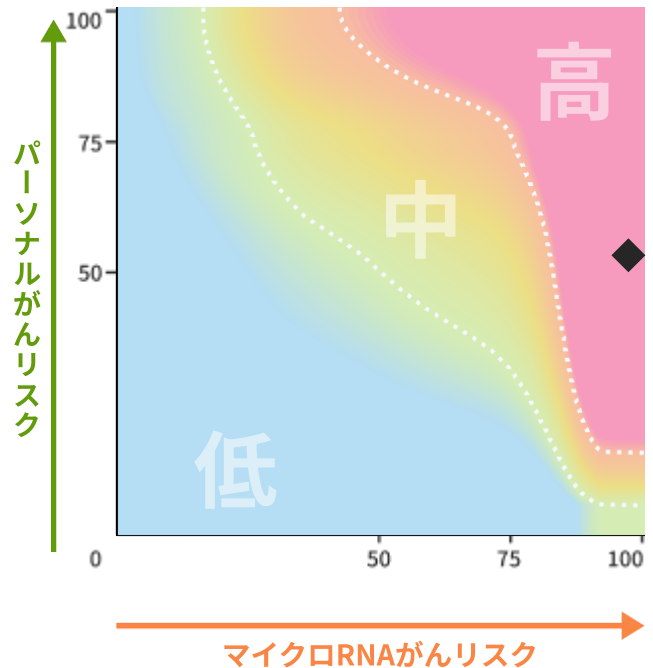
現時点でのあなたの
大腸がん発症リスクは

高

です。

現時点でのあなたの大腸がん発症リスクは「高」です。これはあなたと同じ性別・年代における大腸がんへのかかりやすさよりも高いといえます。

◆ 今回の結果 2025/04/02



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚される大腸がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、大腸がんの発症リスクが高いと判定されました。検査結果として示されるがん疾患リスクが高い場合に、直ちにがんと診断されるものではありませんが、大腸がんの初期症状に当てはまる症状の有無に関わらず、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。



あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

今回の
検査結果

97

大腸がんのマイクロRNAがんリスクが"高"と判定されました。より一層、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

同世代・性別と比べて大腸がんのリスクが高いと言えます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。

◆ 今回のあなたのスコア(97)



マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

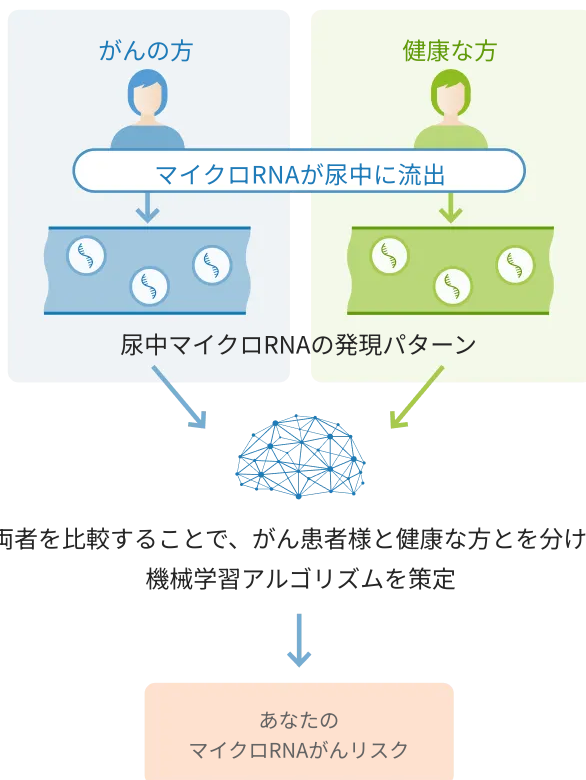
97

前回

前々回

マイクロRNAがん
リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

52

大腸がんのパーソナルがんリスクが"中"と判定されました。年齢の上昇や生活習慣によってリスクが高まる可能性があります。定期的な検診の受検を心がけましょう。

大腸がん発症リスクがやや高い年齢、体質、生活習慣であると考えられます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。総合評価が"低"や"中"の場合でも、今後も定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(52)



パーソナルがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

52

前回

前々回

あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	4.7倍	20歳 0.1倍以下 50歳 1.0倍 95～99歳 5.1倍	大腸がんの罹患率は、40代から増え始め、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
大腸がんの家族歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり(40歳未満) 3.29倍	血縁者（両親、兄弟、姉妹）に大腸がんと診断された方がいる場合、大腸がんのリスクが高まります。
潰瘍性大腸炎の既往歴	なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 1.66倍	潰瘍性大腸炎は、大腸の粘膜に慢性的な炎症が生じる病気です。下痢、血便、慢性的な腹痛などが主な症状で、食生活の改善などにより予防することができます。
喫煙の習慣	吸わない	1.0倍	なし 1.0倍 吸う/吸っていた 1.6倍	喫煙は大腸がんのリスクを高めます。過去に喫煙していても、禁煙することでリスクが下がります。禁煙に努めましょう。
飲酒の習慣	飲まない	1.0倍	週5日未満 1.0倍 週5日以上 1.42倍	過度な飲酒は、大腸がんのリスクを高めます。厚生労働省は「節度ある適度な飲酒」として1日の平均純アルコール摂取量を約20g（日本酒一合程度）程度と提唱しています。
運動の頻度	週4回以上	0.7倍	ほぼ毎日 0.7 倍 しない 1.0倍	適度な運動は、大腸がんのリスクを下げます。厚生労働省は「健康づくりのための身体活動基準」として30分以上の運動を週2日以上と提唱しています。
BMI	22.67	1.0倍	27未満 1.0倍 30以上 1.47倍	BMIが27以上の方は、大腸がんのリスクが高まります。BMIが22の方は、最も病気になるにくい状態であるとされています。適正な体重の維持に努めましょう。

パーソナルがん リスクスコアとは

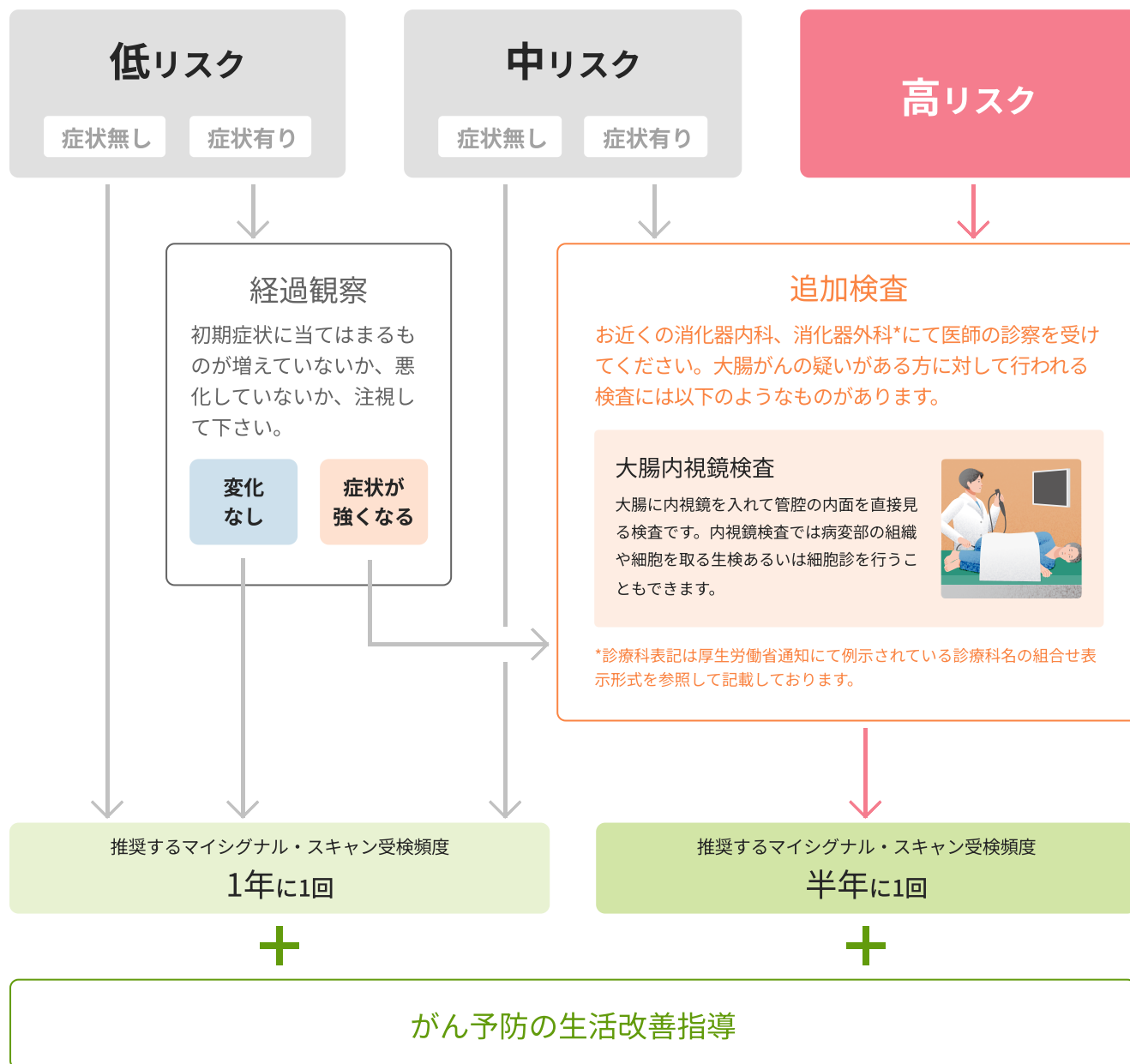
生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診をうけるように心がけましょう。



受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果



追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認ください。
<https://bit.ly/3bLOMOa>





食道がん

総合評価

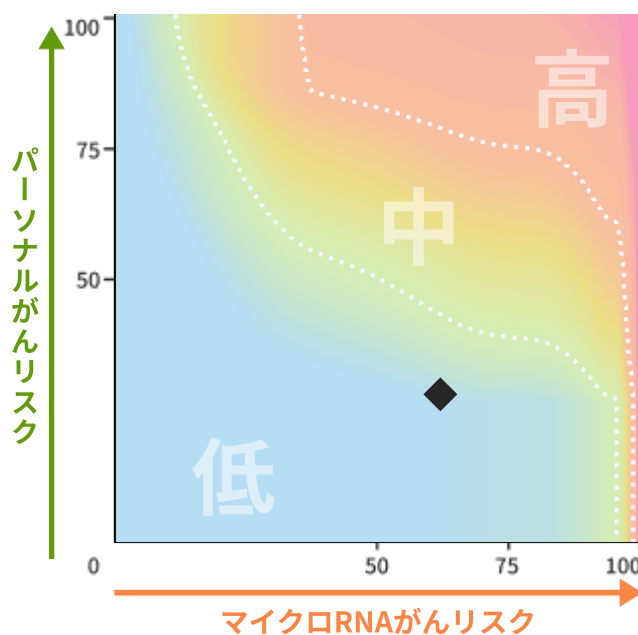
現時点でのあなたの
食道がん発症リスクは

低

です。

今回の検査で提出頂いた尿の分析結果と
申込票を総合評価し、あなたが現時点で
がんである可能性を判定しています。

◆ 今回の結果 2025/04/02



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚される食道がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、食道がん発症リスクは低いと考えられます。食道がんの初期症状に当てはまる症状がある方は、引き続き経過観察を行い、症状が強くなる場合は追加検査の受検をおすすめします。また、予防や健康状態を確認するためにも、マイシグナル・スキャンを定期的に受検下さい。

※マイシグナル・スキャンでは定期的ながん判定アルゴリズムをアップデートしております。



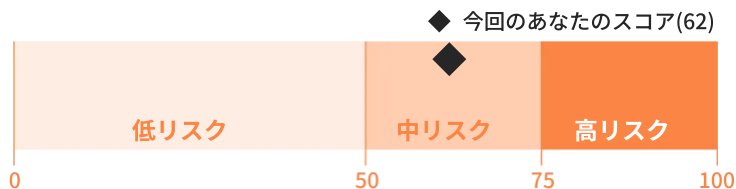
あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

今回の
検査結果

62

食道がんのマイクロRNAがんリスクが"中"と判定されました。規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

同世代・性別と比べて食道がんのリスクが高いと言えます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。



マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

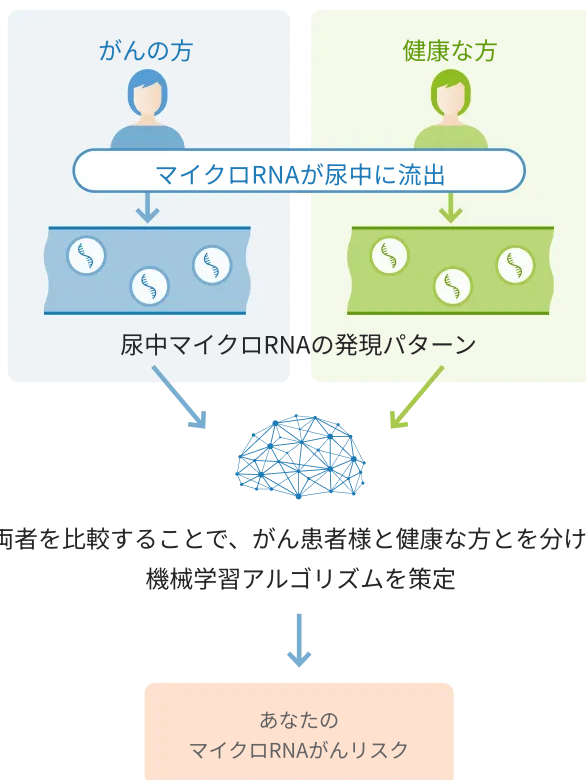
62

前回

前々回

マイクロRNAがん
リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

27

食道がんのパーソナルがんリスクが低く、理想的な状態です。引き続き、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

食道がん発症リスクが低い体質、生活習慣であると考えられます。ただし、安心は禁物です。食道がんリスクは年齢の影響を受けやすく、今後リスクが変動する可能性があります。今後も、健康的な生活習慣を心がけ、早期発見のために定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(27)



パーソナルがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

27

前回

前々回

あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	3.5倍	20歳 0.1倍以下 50歳 1.0倍 75~79歳 3.6倍	食道がんの罹患率は、40代から増え始め、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
食道がんの 家族歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 2.11倍	血縁者（両親、兄弟、姉妹）に食道がんと診断された方がいる場合、食道がんのリスクが高まります。
喫煙の習慣	吸わない	1.0倍	なし 1.0倍 吸う/吸っていた 4.81倍	喫煙は、食道がんのリスクを高めます。喫煙歴が長く、喫煙量が多いほど、リスクが高まります。過去に喫煙していても、禁煙することでリスクが下がります。禁煙に努めましょう。
飲酒の習慣	飲まない	1.0倍	週5日未満 1.0倍 週5日以上 2.4倍	過度な飲酒は、食道がんのリスクを高めます。厚生労働省は「節度ある適度な飲酒」として1日の平均純アルコール摂取量を約20g（日本酒一合程度）程度と提唱しています。
野菜・果物の 食習慣	よく食べる	0.78倍	よく食べる 0.78倍 あまり食べない 1.0倍	野菜や果物を積極的に摂取すると、食道がんのリスクが下がります。毎日1回は野菜や果物を食事に取り入れましょう。

パーソナルがん リスクスコアとは

生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診をうけるように心がけましょう。



受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果

低リスク

症状無し

症状有り

中リスク

症状無し

症状有り

高リスク

経過観察

初期症状に当てはまるものが
増えていないか、悪化して
いないか、注視して下さい。

変化
なし症状が
強くなる

追加検査

お近くの消化器内科、消化器外科*にて医師の診察を受けて
ください。食道がんの疑いがある方に対して行われる
検査には以下のようなものがあります。

食道内視鏡検査

食道に内視鏡を入れて管腔の内面を直接見る
検査です。内視鏡検査では、病変部の組織
や細胞を取る生検あるいは細胞診を行う
こともできます。



*診療科表記は厚生労働省通知にて例示されている診療科名の組合せ表示
形式を参照して記載しております。

推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

1年に1回



推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

半年に1回



がん予防の生活改善指導

追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認いただけます。
<https://bit.ly/3bLOMOa>





すい臓がん

総合評価

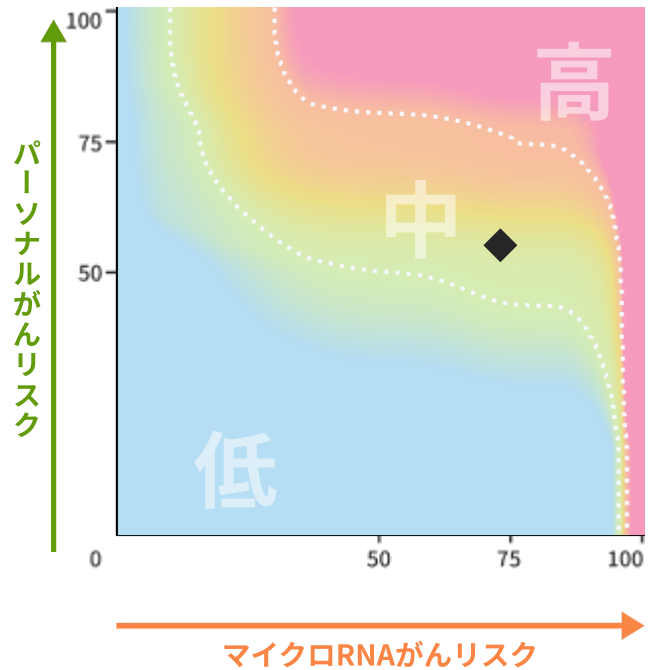
◆ 今回の結果 2025/04/02

現時点でのあなたの
すい臓がん発症リスクは

中

です。

現時点でのあなたのすい臓がん発症リスクは「中」です。これはあなたと同じ性別・年代におけるすい臓がんへのかかりやすさよりも高いといえます。



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚されるすい臓がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、すい臓がんの発症リスクが中と判定されました。すい臓がんの初期症状に当てはまる症状がない方は今すぐ追加の検査を受けていただく必要はありませんが、当てはまる症状がある方は、追加検査の受検をおすすめします。また、予防や健康状態を確認するためにも、マイシグナル・スキャンを定期的に受検下さい。



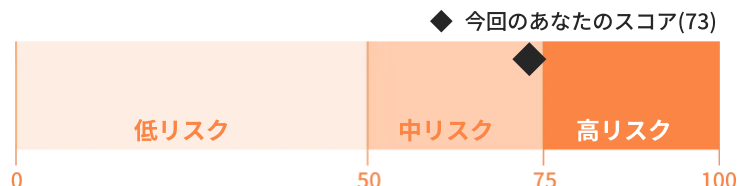
あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

今回の
検査結果

73

すい臓がんのマイクロRNAがんリスクが"中"と判定されました。規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

同世代・性別と比べてすい臓がんのリスクが高いと言えます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。



マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

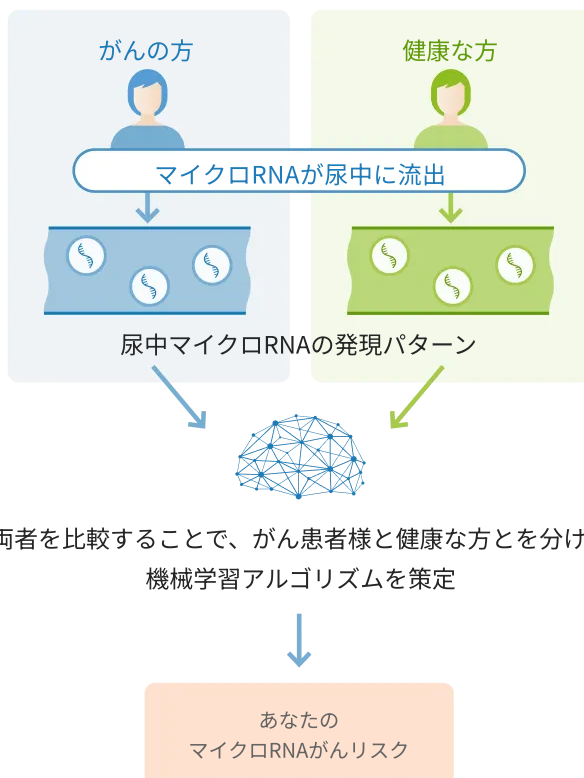
73

前回

前々回

マイクロRNAがん
リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

54

すい臓がんのパーソナルがんリスクが"中"と判定されました。年齢の上昇や生活習慣によってリスクが高まる可能性があります。定期的な検診の受検を心がけましょう。

すい臓がん発症リスクがやや高い年齢、体質、生活習慣であると考えられます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。総合評価が"低"や"中"の場合でも、今後も定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(54)



パーソナルがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

54

前回

前々回

あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	6.3倍	20歳 0.1倍以下 55歳 1.0倍 95~99歳 9.4倍	すい臓がんの罹患率は、40代から増え始め、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
血液型	B 型	1.0倍	O型 0.53 倍 O型以外 1.0倍	血液型がO型の方は、A型、B型、AB型の方に比べてすい臓がんのリスクが下がります。
すい臓がんの家族歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 第一度近親者に3人 32.0倍	血縁者にすい臓がんと診断された方がいる場合、すい臓がんのリスクが高まります。また、血縁者にすい臓がんと診断された方の人数が多いほど、リスクが高まります。
既往歴	該当なし	1.0倍	該当なし 1.0倍 該当する 13.3倍	糖尿病、慢性すい炎、すい嚢胞、胃潰瘍、歯周病と診断されたことがある方は、すい臓がんのリスクが高まります。
喫煙の習慣	吸わない	1.0倍	なし/禁煙10年以上 1.0倍 吸う 1.84倍	喫煙は、すい臓がんのリスクを高めます。喫煙歴が長く、喫煙量が多いほど、リスクが高まります。過去に喫煙していても、禁煙することでリスクが下がります。禁煙に努めましょう。
飲酒の習慣	飲まない	1.0倍	飲まない 1.0倍 飲む 1.2倍	過度な飲酒は、すい臓がんのリスクを高めます。厚生労働省は「節度ある適度な飲酒」として1日の平均純アルコール摂取量を約20g（日本酒一合程度）程度と提唱しています。
BMI	22.67	1.0倍	35未満 1.0倍 35以上 1.45倍	BMIが35より大きい方は、すい臓がんのリスクが高まります。BMIが22の方は、最も病気になりにくい状態であるとされています。適正な体重の維持に努めましょう。

パーソナルがん リスクスコアとは

生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診をうけるように心がけましょう。



受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果

低リスク

症状無し

症状有り

中リスク

症状無し

症状有り

高リスク

経過観察

初期症状に当てはまるものが増えていないか、悪化していないか、注視して下さい。

変化
なし症状が
強くなる

追加検査

お近くの消化器内科、消化器外科、すい臓外科*にて医師の診察を受けてください。すい臓がんの疑いがある方に対して行われる検査には以下のようなものがあります。

腹部超音波検査

腹部に超音波をあて、肝臓・胆のう・すい臓・脾臓・腎臓などを中心に、異常がないかを調べる検査です。



*診療科表記は厚生労働省通知にて例示されている診療科名の組合せ表示形式を参照して記載しております。

推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

1年に1回



推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

半年に1回



がん予防の生活改善指導

追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認ください。
<https://bit.ly/3bLOMOa>





腎臓がん

総合評価

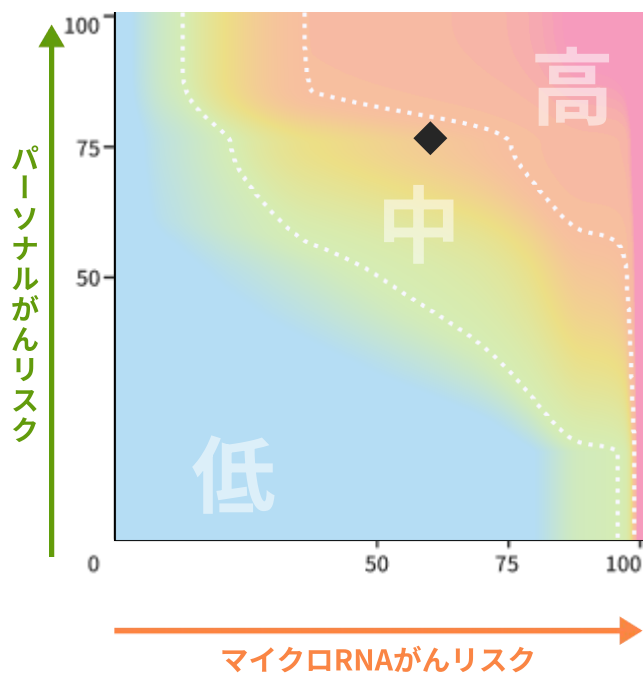
現時点でのあなたの
腎臓がん発症リスクは

中

です。

現時点でのあなたの腎臓がん発症リスクは「中」です。これはあなたと同じ性別・年代における腎臓がんへのかかりやすさよりも高いといえます。

◆ 今回の結果 2025/04/02



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚される腎臓がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、腎臓がんの発症リスクが中と判定されました。腎臓がんの初期症状に当てはまる症状がない方は今すぐ追加の検査を受けていただく必要はありませんが、当てはまる症状がある方は、追加検査の受検をおすすめします。また、予防や健康状態を確認するためにも、マイシグナル・スキャンを定期的に受検下さい。



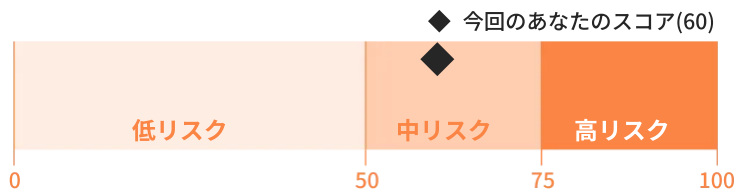
あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

今回の
検査結果

60

腎臓がんのマイクロRNAがんリスクが"中"と判定されました。規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

同世代・性別と比べて腎臓がんのリスクが高いと言えます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。



マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

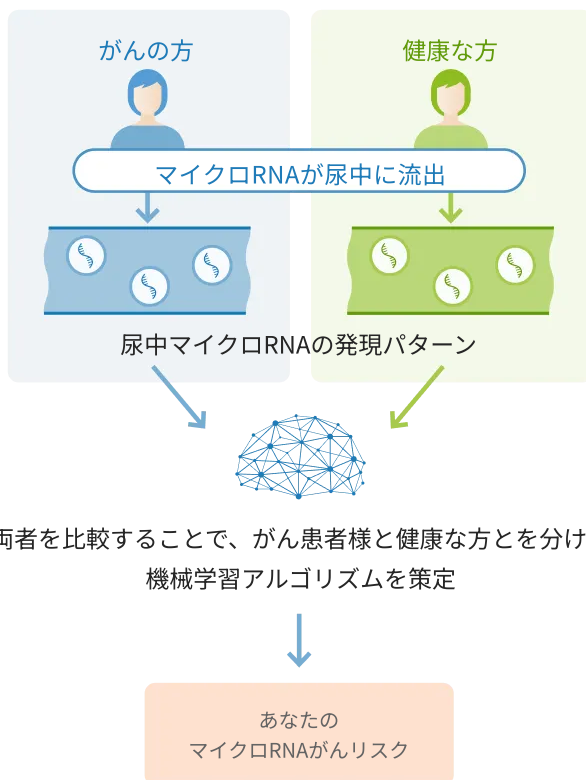
60

前回

前々回

マイクロRNAがん
リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

75

腎臓がんのパーソナルがんリスクが"高"と判定されました。年齢の上昇や生活習慣によってリスクが高まる可能性があります。定期的な検診の受検を心がけましょう。

腎臓がん発症リスクが高い年齢、体質、生活習慣であると考えられます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。総合評価が"低"や"中"の場合でも、今後も定期的な検査の受検を行いましょう。



あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	5.3倍	20歳 0.1倍以下 50歳 1.0倍 85~89歳 5.9倍	腎臓がんの罹患率は、40代から増え始め、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
腎臓がんの家族歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 2.4倍	ご家族に腎臓がんと診断された方がいる場合、腎臓がんの発症リスクが高まります。
喫煙の習慣	吸わない	1.0倍	なし/一日40本未満 1.0倍 一日40本以上 1.5倍	過度な喫煙は腎臓がんの発症リスクを高めると言われています。禁煙に努めましょう。
人工透析の既往歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 11.0倍	継続的な透析は腎臓がんのリスクを高めると報告されています。長期間であるほどリスクが高まると言われています。
高血圧の既往歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 3.4倍	高血圧と診断されたことがある方は、腎臓がんの発症リスクが高くなると言われています。
BMI	22.67	1.0倍	21以上25未満 1.0倍 25以上 1.55倍	BMIが高すぎても低すぎても、腎臓がんの発症リスクが高まると言われています。適正な体重の維持に努めましょう。

パーソナルがん
リスクスコアとは

生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診を受けるように心がけましょう。



受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果

低リスク

症状無し

症状有り

中リスク

症状無し

症状有り

高リスク

経過観察

初期症状に当てはまるものが増えていないか、悪化していないか、注視して下さい。

変化
なし症状が
強くなる

追加検査

お近くの泌尿器科や腎臓内科等※にて医師の診察を受けてください。腎臓がんの疑いがある方に対して行われる検査には以下のようなものがあります。

腹部超音波検査

非侵襲的かつ痛みのない方法で腎臓の形状や異常を非侵襲的に確認する検査です。超音波を使用して腎臓の形状やサイズ、結石や腫瘍の有無などを安全に評価できます。



*診療科表記は厚生労働省通知にて例示されている診療科名の組合せ表示形式を参照して記載しております。

推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

1年に1回



推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

半年に1回



がん予防の生活改善指導

追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認いただけます。
<https://bit.ly/3bLOMOa>





膀胱がん

総合評価

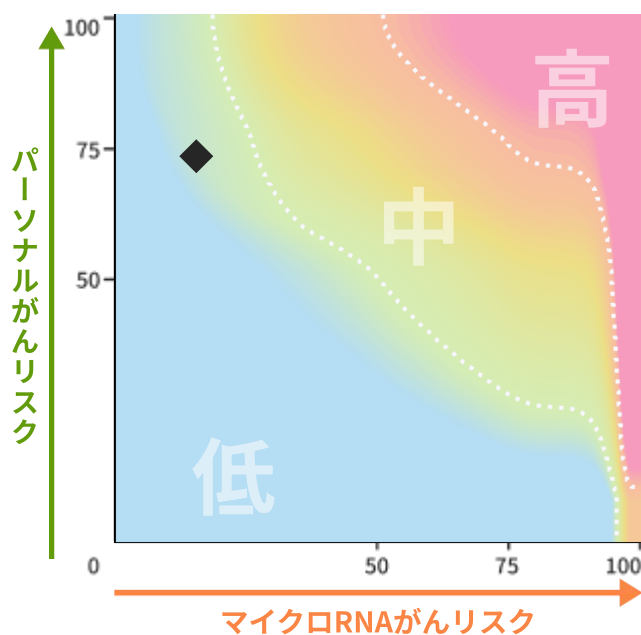
現時点でのあなたの
膀胱がん発症リスクは

低

です。

今回の検査で提出頂いた尿の分析結果と
申込票を総合評価し、あなたが現時点で
がんである可能性を判定しています。

◆ 今回の結果 2025/04/02



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚される膀胱がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、膀胱がん発症リスクは低いと考えられます。膀胱がんの初期症状に当てはまる症状がある方は、引き続き経過観察を行い、症状が強くなる場合は追加検査の受検をおすすめします。また、予防や健康状態を確認するためにも、マイシグナル・スキャンを定期的に受検下さい。

※マイシグナル・スキャンでは定期的ながん判定アルゴリズムをアップデートしております。



あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

今回の
検査結果

16

膀胱がんのマイクロRNAがんリスクが"低"と判定されました。引き続き、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

膀胱がんのリスクが同世代・性別と同程度と言えます。しかしながら、安心は禁物です。膀胱がんは自覚症状を伴わず発症、進行する可能性があります。健康的な生活習慣を心がけ、早期発見のために定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(16)



マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

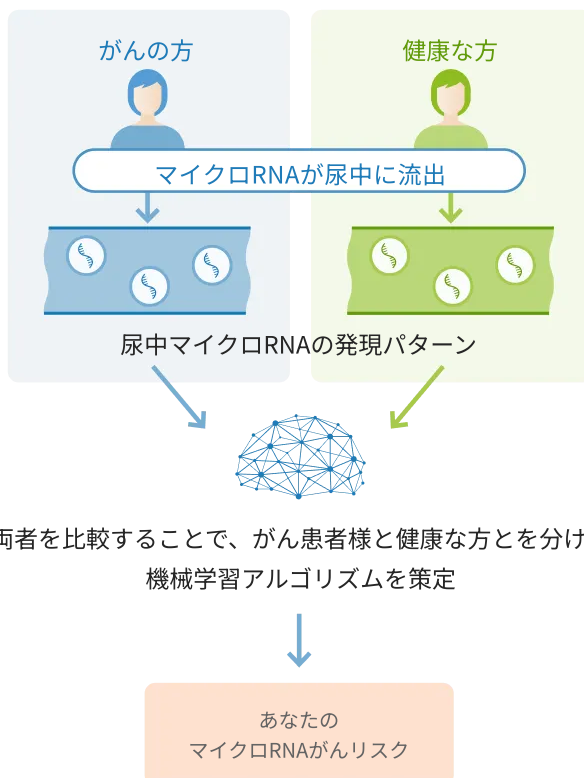
16

前回

前々回

マイクロRNAがん
リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

72

膀胱がんのパーソナルがんリスクが"中"と判定されました。年齢の上昇や生活習慣によってリスクが高まる可能性があります。定期的な検診の受検を心がけましょう。

膀胱がん発症リスクがやや高い年齢、体質、生活習慣であると考えられます。直ちにがんと診断されるものではありませんが、総合評価でもリスク"高"となっている場合は、医師と相談のうえ、必要と考えられる追加検査を受検して下さい。総合評価が"低"や"中"の場合でも、今後も定期的な検査の受検を行いましょう。



あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	11.3倍	20歳 0.1倍以下 50歳 1.0倍 90~94歳 15.3倍	膀胱がんの罹患率は、40代から増え始め、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
膀胱がんの家族歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 1.7倍	ご家族に膀胱がんと診断された方がいる場合、膀胱がんの発症リスクが高まります。
喫煙の習慣	吸わない	1.0倍	ない 吸っていた 1.0倍 吸う 3.47倍	喫煙は尿路上皮がんの発症リスクを高めると言われています。

パーソナルがん
リスクスコアとは

生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診をうけるように心がけましょう。



受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果

低リスク

症状無し

症状有り

中リスク

症状無し

症状有り

高リスク

経過観察

初期症状に当てはまるものが
増えていないか、悪化して
いないか、注視して下さい。

変化
なし

症状が
強くなる

追加検査

お近くの泌尿器科等※にて医師の診察を受けてください。
膀胱がんの疑いがある方に対して行われる検査には
以下のようなものがあります。

尿細胞診

尿細胞診は、尿中の細胞を顕微鏡で観察し、膀胱がんなどの異常を検出する検査です。非侵襲的で簡便な方法として広く利用されています。



*診療科表記は厚生労働省通知にて例示されている診療科名の組合せ表示形式を参照して記載しております。

推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

1年に1回



推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

半年に1回



がん予防の生活改善指導

追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認いただけます。
<https://bit.ly/3bLOMOa>





卵巣がん

総合評価

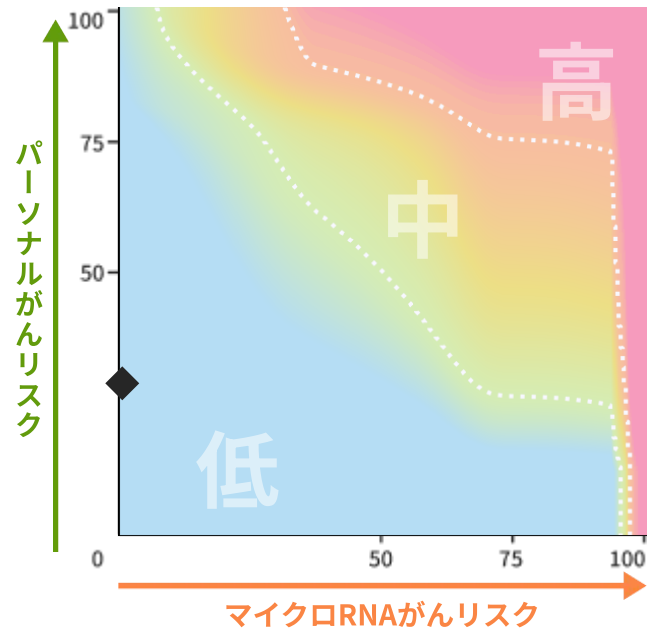
◆ 今回の結果 2025/04/02

現時点でのあなたの
卵巣がん発症リスクは

低

です。

今回の検査で提出頂いた尿の分析結果と
申込票を総合評価し、あなたが現時点で
がんである可能性を判定しています。



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚される卵巣がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、卵巣がん発症リスクは低いと考えられます。卵巣がんの初期症状に当てはまる症状がある方は、引き続き経過観察を行い、症状が強くなる場合は追加検査の受検をおすすめします。また、予防や健康状態を確認するためにも、マイシグナル・スキャンを定期的に受検下さい。

※マイシグナル・スキャンでは定期的ながん判定アルゴリズムをアップデートしております。



あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

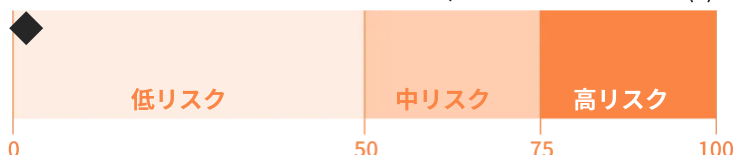
今回の
検査結果

1

卵巣がんのマイクロRNAがんリスクが"低"と判定されました。引き続き、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

卵巣がんのリスクが同世代・性別と同程度と言えます。しかしながら、安心は禁物です。卵巣がんは自覚症状を伴わず発症、進行する可能性があります。健康的な生活習慣を心がけ、早期発見のために定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(1)



マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

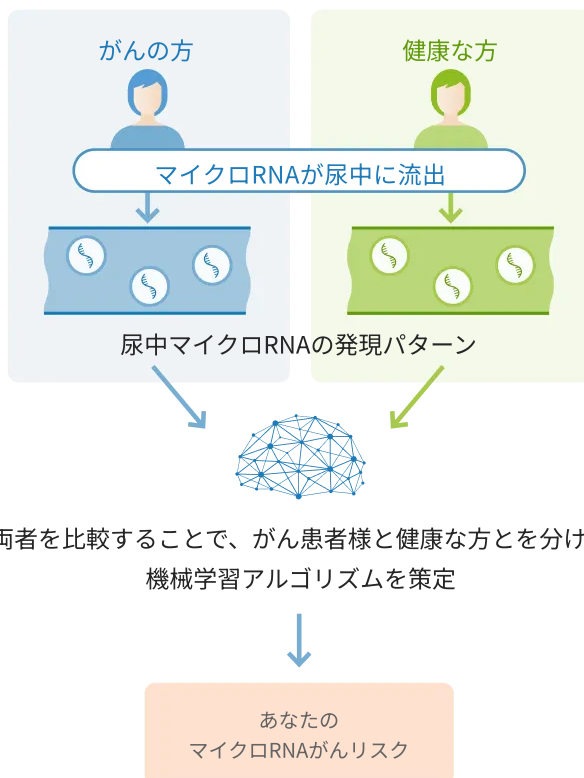
1

前回

前々回

マイクロRNAがん
リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

28

卵巣がんのパーソナルがんリスクが低く、理想的な状態です。引き続き、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

卵巣がん発症リスクが低い体質、生活習慣であると考えられます。ただし、安心は禁物です。卵巣がんリスクは年齢の影響を受けやすく、今後リスクが変動する可能性があります。今後も、健康的な生活習慣を心がけ、早期発見のために定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(28)



パーソナルがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

28

前回

前々回

あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	3.7倍	20歳 1.0倍 55-59歳 5.7倍	卵巣がんの罹患率は、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
身長	144cm	0.89倍	160cm未満 0.89倍 170cm以上 1.12倍	身長が170cm以上の方は、160cm未満の方に比べて卵巣がんのリスクが高まります。
BMI	22.67	1.0倍	35未満 1.0倍 35以上 1.09倍	BMIが35以上の方は、卵巣がんのリスクが高まります。BMIが22の方は、最も病気になりにくい状態であるとされています。適正な体重の維持に努めましょう。
妊娠出産回数	2回	0.74倍	4回 0.58倍 0回 1.0倍	妊娠・出産の経験がある方は、卵巣がんのリスクが下がります。また、妊娠・出産経験回数が多いほど、卵巣がんのリスクは下がります。
経口避妊薬の使用歴	0年	1.0倍	10年以上 0.67倍 使用歴なし 1.0倍	経口避妊薬を使用している方は、卵巣がんのリスクが下がります。また、使用歴が長いほど、卵巣がんリスクが下がります。
子宮内膜症の既往歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 1.35倍	子宮内膜症は、子宮の内側を覆う「子宮内膜」に似た組織が、他の場所にもできてしまう病気です。下腹部の痛みや不妊などが主な症状です。
乳がんの既往歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 2.0倍	乳がんと診断された方は、卵巣がんのリスクも高まります。当てはまる場合は、年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
乳がん・卵巣がんの家族歴	該当なし	1.0倍	なし 1.0倍 どちらもあり 1.62倍	血縁者（母、姉妹、娘）に乳がん又は卵巣がんと診断された方がいらっしゃる場合、卵巣がんのリスクが高まります。

パーソナルがん リスクスコアとは

生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診を受けるように心がけましょう。



受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果

低リスク

症状無し

症状有り

中リスク

症状無し

症状有り

高リスク

経過観察

初期症状に当てはまるものが
増えていないか、悪化して
いないか、注視して下さい。

変化
なし

症状が
強くなる

追加検査

お近くの産婦人科、婦人科*にて医師の診察を受けてください。卵巣がんの疑いがある方に対して行われる検査には以下のようなものがあります。

骨盤CT・MRI検査

骨盤CT・MRI検査は、X線や強い磁力を使って骨盤内臓器の状態を画像化し、診断する検査です。



経膈エコー等

膈の中から超音波をあてて骨盤の中の状況を確認する検査で、腫瘍の有無やその性質や状態、周囲の臓器との位置関係を調べます。



*診療科表記は厚生労働省通知にて例示されている診療科名の組合せ表示形式を参照して記載しております。

推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

1年に1回



推奨するマイシグナル・スキャン受検頻度

半年に1回



がん予防の生活改善指導

追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認ください。
<https://bit.ly/3bLOMOa>





乳がん

総合評価

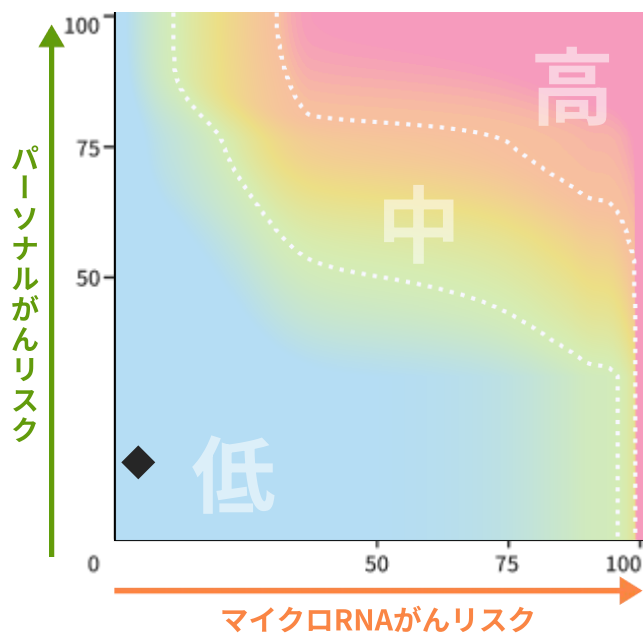
現時点でのあなたの
乳がん発症リスクは

低

です。

今回の検査で提出頂いた尿の分析結果と
申込票を総合評価し、あなたが現時点で
がんである可能性を判定しています。

◆ 今回の結果 2025/04/02



疑いのある症状

検査時点で、特に自覚される乳がんの症状は認められていません。

「低リスク」であっても、関連する症状が頻繁に出る方は、医師に相談されることをおすすめします。

今回の結果では、乳がん発症リスクは低いと考えられます。乳がんの初期症状に当てはまる症状がある方は、引き続き経過観察を行い、症状が強くなる場合は追加検査の受検をおすすめします。また、予防や健康状態を確認するためにも、マイシグナル・スキャンを定期的に受検下さい。

※マイシグナル・スキャンでは定期的ながん判定アルゴリズムをアップデートしております。

あなたのマイクロRNAがんリスクスコア

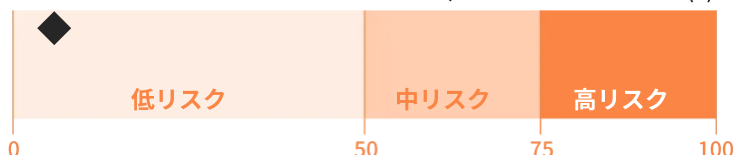
今回の
検査結果

5

乳がんのマイクロRNAがんリスクが"低"と判定されました。引き続き、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

乳がんのリスクが同世代・性別と同程度と言えます。しかしながら、安心は禁物です。乳がんは自覚症状を伴わず発症、進行する可能性があります。健康的な生活習慣を心がけ、早期発見のために定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(5)



マイクロRNAがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

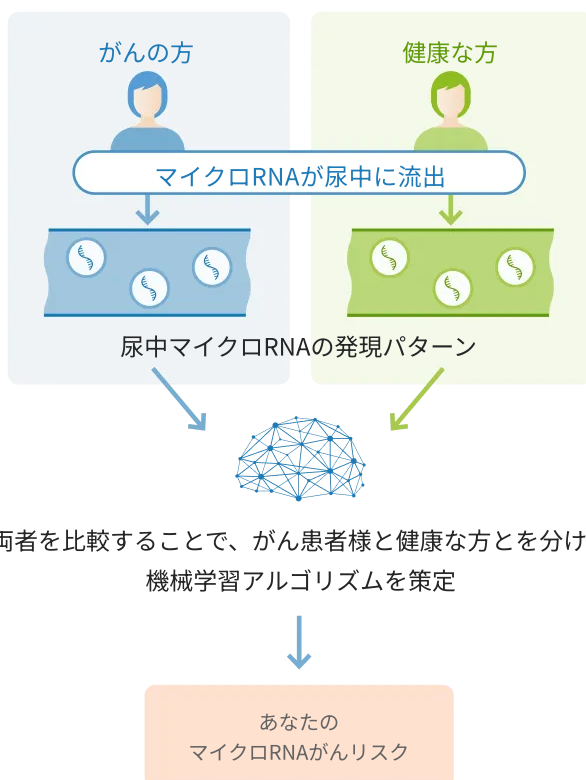
5

前回

前々回

マイクロRNAがん リスクスコアとは

現時点でのがん罹患リスクを示すスコアです。がんの方と健康な方のマイクロRNAの発現パターンの違いを利用することで、あなたのがんリスクを判定しています。



あなたのパターンを分析し機械学習アルゴリズムにより判定

あなたのパーソナルがんリスクスコア

今回の
検査結果

14

乳がんのパーソナルがんリスクが低く、理想的な状態です。引き続き、規則正しい生活習慣と定期的な検診の受検を心がけましょう。

乳がん発症リスクが低い体質、生活習慣であると考えられます。ただし、安心は禁物です。乳がんリスクは年齢の影響を受けやすく、今後リスクが変動する可能性があります。今後も、健康的な生活習慣を心がけ、早期発見のために定期的な検査の受検を行いましょう。

◆ 今回のあなたのスコア(14)



パーソナルがんリスクスコア

今回 (2025/04/02)

14

前回

前々回

あなたのパーソナルがんリスクに関連する因子

	あなたの回答	がんリスク	◆あなたのがんリスクの相対的な位置	
年齢	81 歳	7.0倍	20歳 0.1倍以下 30歳 1.0倍 65~69歳 8.8倍	乳がんの罹患率は、30代から増え始め、年齢が上がるとともに増加します。年齢に応じて、適切な頻度での検査受診をお勧めします。
BMI	22.67	1.0倍	30以下 1.0倍 30より大きい 1.5倍	BMIが30より大きい方は、乳がんのリスクが高まります。BMIが22の方は、最も病気になるにくい状態であるとされています。適正な体重の維持に努めましょう。
喫煙の習慣	吸わない	1.0倍	吸わない 1.0倍 吸っている 1.9倍	喫煙は、乳がんのリスクを高めます。過去に喫煙していても、禁煙することでリスクが下がります。禁煙に努めましょう。
飲酒の習慣	飲まない	1.0倍	飲まない 1.0倍 ほぼ毎日 1.75倍	過度な飲酒は、乳がんのリスクを高めます。厚生労働省は「節度ある適度な飲酒」として1日の平均純アルコール摂取量を約20g（日本酒一合程度）程度と提唱しています。
運動の頻度	週4回以上	0.73倍	週2回以上 0.73 倍 しない 1.0 倍	適度な運動は、乳がんのリスクを下げます。厚生労働省は「健康づくりのための身体活動基準」として30分以上の運動を週2日以上行うことを推奨しています。
乳がんの家族歴	該当なし	1.0倍	いない 1.0倍 第一度近親者に2名 3.5倍	血縁者に乳がんと診断された方がいる場合、乳がんのリスクが高まります。乳がんを発症された方が母、姉妹、娘のいずれかの場合は、特に乳がんのリスクが高まります。
糖尿病の既往歴	なし	1.0倍	なし 1.0倍 あり 1.27倍	糖尿病は、高血糖が慢性的に続く病気です。進行すると、がんだけでなく心臓病や脳卒中のリスクが高まります。食生活の改善などにより予防することができます。
初産年齢	20代	1.0倍	30歳未満 1.0倍 なし/30歳以上 2.0倍	初めての妊娠が30歳以上、又は出産経験がない方は、乳がんの発症リスクが高まります。
出産回数	2回	0.84倍	5回以上 0.53 倍 0回 1.0 倍	妊娠・出産の経験がある方は、乳がんのリスクが下がります。また、妊娠・出産経験回数が多いほど、乳がんのリスクは下がります。
検査経験と異常の有無	なし	1.0倍	異常なし 1.0倍 異常あり 2.0倍	過去にマンモグラフィ検査で「異常あり」と判定され、デンスプレストと診断されている場合、乳がんのリスクが高まります。デンスプレストは、乳腺が多い乳房を指します。

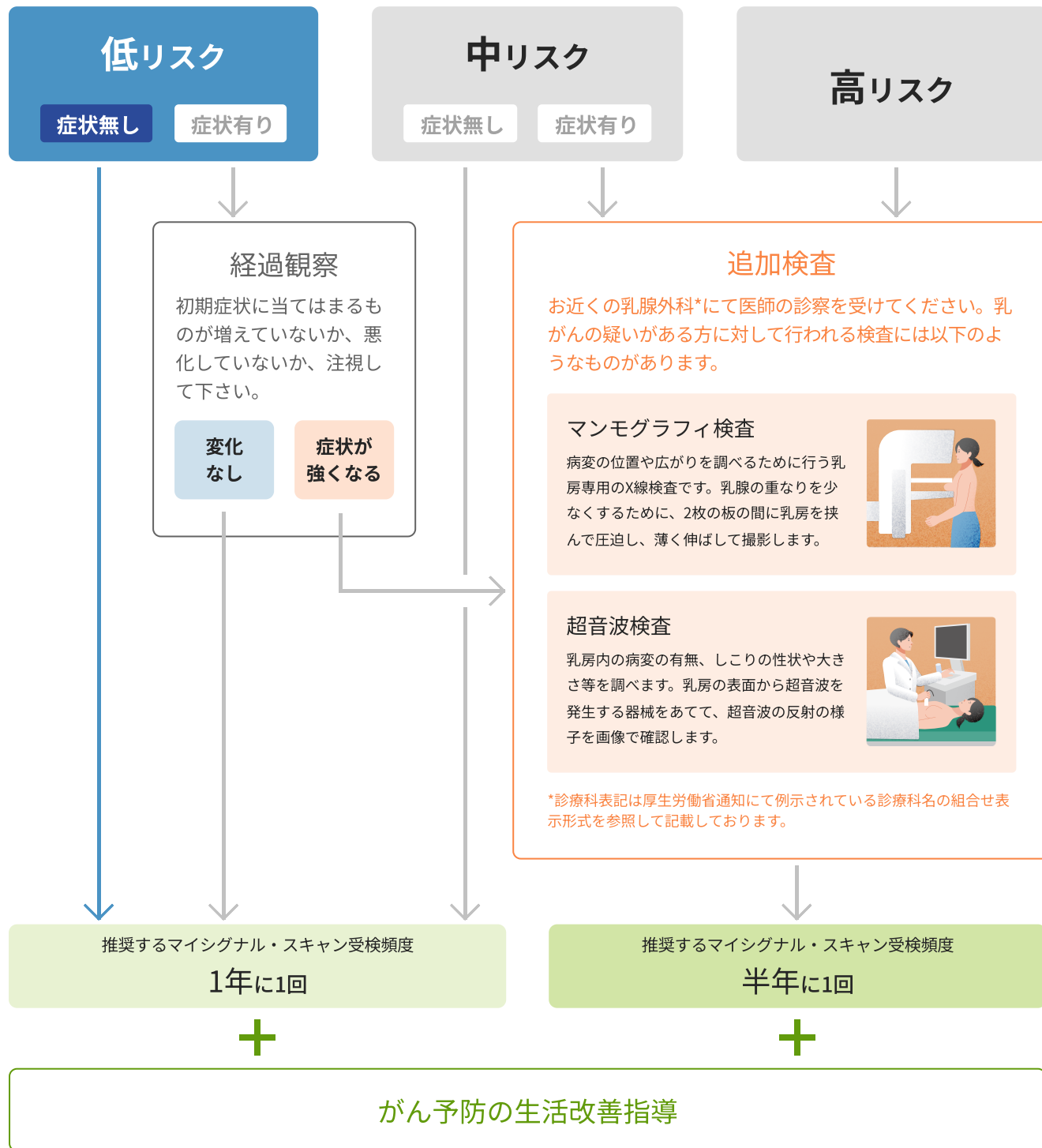
パーソナルがん
リスクスコアとは

生活習慣や体質等による、がんのかかりやすさを示します。これまでの研究により、様々な要因ががんのかかりやすさに影響することが知られています。このスコアが高い方は、より気をつけて定期的な検診をうけるように心がけましょう。

受検後の対応について

マイシグナル・スキャンの結果に応じ、生活習慣の改善や予防への対策、必要に応じて追加検査のご受検をおすすめします。

今回のあなたの結果



追加検査実施施設のご案内

マイシグナル・スキャン導入先の内、追加検査を受検できる医療機関はこちらのURLからご確認ください。
<https://bit.ly/3bLOMOa>



